令和2年12月10日　発行

まこと通信

まこと通信は、「まこと」とご利用者様・ご家族様の情報共有のひとつとして発刊しております。まことの提供サービスを紹介し、実施している内容に対して少しでもご理解とご協力をいただき、よりよい介護サービスの提供に努めて参ります。発刊は毎月10日を予定しています。

まこと大忘年会

恒例になっております「まこと大忘年会」は、今年は中止とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ご利用者様・ご家族様・職員など関わる方々を守るためにも中止と決定いたします。

まこと大忘年会は、ご利用者様・ご家族様・ご来賓・職員が一堂に会して、「年に一回ぐらいは、ご利用者様がお洒落をして、外でおいしいお食事をしていただければ」と願い、平成21年から実施し、今年で11回目を迎える年でした。開設10周年を記念して、いつもよりもさらに嗜好を凝らした余興を予定しておりました。開催できず非常に残念ですが、現在のコロナ禍の状況では、中止は致し方ない判断であり、皆様のご理解も得られるものと思います。

まこと大忘年会の特徴は、各事業所のご利用者様の余興発表があることです。最近は、ほとんどか歌になってしまいましたが、ハンドベルなど練習が必要なものにも取り組んでいました。各事業所が10月ぐらいから12月までの間に15回ぐらいは重ねて練習をします。私は、この練習がご利用者様の生活に意味があるといつも職員へは伝えていました。

事業所での生活は、毎日決まった日課で動きます。その日課は非常に単調なものです。単調な活動は、終の棲家としての安心感をもたらします。しかし、その一方で、日常に＋αの体を動かす活動が、筋肉・骨・心肺機能・認知機能などの廃用性の機能低下を防ぎます。

朝の学習タイム・一日二回(午前・午後)の体操はまことのすべての事業所がお客様と約束している内容です。また、月2回の調理活動も各事業所に実施するように指示していることです。それ以外にも、各事業所ごとに毎月1つは行事を企画し実行するように言っています。しかし、「ご利用者様がやりたくないとおっしゃっているので」という言葉で実施されていない事業所があったり、ご利用者様が「めんどくさがったり」「拒否された」場合などはお休みになっています。活動に参加していただく為には、どのようにしたら良いかを考え、実行できるスタッフが優秀な介護職員です。もちろん、介護職員だけではできないことがたくさんあります。ご家族様に一緒に参加していただき、ご利用者様のやる気を職員と一緒に引っ張っていただきたいと願います。ご家族様との調整は各事業所の管理者が行います。ご家族様とのコミュニケーションが足りない事業所も見受けられます。職員が頑張っていてもその頑張りを具体的にご家族様にきちんと伝えていないと感じています。ケアプランに基づいて実施している内容とその様子を定期的にお伝えして、ご家族様に事業所の活動に参加していただくように促すのが管理者・ケアマネの役割です。どのようにしたらご利用者様の生活がより豊かなものになるのか一緒に考え、行動していただけるとありがたいです。

まことの介護は「自立支援」ですので、洗濯の仕方が悪いとか、部屋の掃除の仕方が悪いとかではなく、認知症の方が自分でタンスに上手にしまうためにはどのように工夫したら良いか、汚れたものをタンスにしまわないようにするにはどうしたら良いか、部屋のモップ掛けをしていただくにはどうしたら良いか、雑巾がけをしてもらうにはどうしたら良いか、といった生活関連動作から、前回号でお伝えした、食事や水分の接収量などADLが低下している方に対してどのようにしたら良いかということを考え、実行するのがまことの介護です。

職員の教育が不十分であることは痛感しています。今年はコロナの影響もあり、年間通して行う研修会も一部しかできておりません。新しく入社した職員の教育も不十分です。加えて、既存の職員の啓発活動も止まりました。コロナ感染症による行動自粛は、色々なところへ影響を及ぼしています。

今、ワクチン開発が進み、コロナ終息に向けて光が見えてきました。それでも終息まであと一年はかかるのではと予測しています。様々な活動を中止する中で、「活動を辞めて今年は準備の手間がなくてよかった」ではなく、先輩介護職員が先頭を切ってまことの介護を日常の中で実践するように努力してください。また、管理者は各事業所で行われた活動を1月から今月に至るまでの1年を振り返りながら、ご利用者様の「自立」「尊厳」「自己実現」を果たすためにどのように職員・ご家族様へ関わったのかを整理し、来年度からのご利用者様へのサービス提供がより良くなるように努めてください。

今年も一年間お世話になりました。来年もよろしくお願いいたします。

小規模まこと　ほのぼの日記

「一日、一笑」を目標にまことに来ると毎日がレクリエーション活動のように楽しんでいただけるよう試行錯誤で頑張っています。

パズル

最近では、午後の余暇活動でパズルが人気になっています。『これはどこだろうね』などと話されながらパズルを完成されていました。『今度はお花をやるよ』と意気込まれていました。

調理レク

今回の調理レクは夕飯のおかずにと！餃子を作ることに。材料を目の前に『さー作りましょう』。美味しい餃子が出来ると良いですね。

おやつレク

おやつレクで『ソフトクッキー』作りに挑戦です！男性陣で力を合わせて生地を混ぜていきます。『こんなもんでいいのかな』職員に聞きながら作業を進められていました。

お手伝い

いつもお手伝いをしてくださるご利用者様、今日も洗濯物干しを手伝ってくださいました。『今度は何を干すの』と声を掛けてくださいます。いつもありがとうございます。

黒ひげゲーム

今日は何をしましょうか？黒ひげゲームに決まりました。ご利用者様からは『これビックリするんだよね』との声もありましたが、皆さん何だか楽しそうですね。ドキドキ感がいいのでしょうか？

工作レク

工作レクで、しめ飾りを作りました。色とりどりのお花や松、折り鶴を飾り付けて、自分だけのオリジナルしめ飾りです。皆さんのお家やお部屋に飾られるんですね。

吉田の奮闘記

早いもので、もう12月となりました。日めくりカレンダーも枚数が少なくなり、あっという間に1年が終わってしまいそうですね。皆さんは、どんな1年だったでしょうか？

さて、小規模まことでは11月の行事として、皆さんでしめ縄作りを行いました。リース型になった、カラフルなしめ縄を使い、皆さんそれぞれ飾りつけを行われました。見た目もとても可愛らしく出来上がったようで、早速お部屋に飾られていました。少し早いかもしれませんが、穏やかなお正月が迎えられるといいですね。

今年は、毎年恒例のまこと大忘年会が中止ということもあり、各事業所でクリスマス会&忘年会を行うことになりました。小規模まことも、24日にクリスマス会を予定しております。いつもより豪華に…と思っていますので、楽しみにしていてくださいね。

今年は新型コロナ感染症のこともあり、皆様には自粛をお願いした一年となってしまいました。来年は、少しでも落ち着いて、今までのような生活が送れるような一年になることを祈りましょう。

今年も一年、ありがとうございました。来年も引き続き、よろしくお願いいたします。

小規模やよい　ほのぼの日記

喜びや楽しみはもちろん悲しみも共有しながら、それぞれの個性を大切に生活を送っていただけるように、安心・安全をモットーにサービスの提供に努めます。

果物狩り①

施設内で秋の紅葉や果物を少しでも楽しもうと果物狩りゲームを行ないました。沢山の果物のイラストをコップにいれた方の勝利です！

果物狩り②

「箸でつかむの難しいね」と苦戦されておりました。それでも時間があまりかかる事なく、皆さんすいすいコップに果物をいれ接戦でした。

新嘗祭①

新嘗祭ということで食べ物の神様に感謝しながら具沢山の豚汁と五目ちらしを作りました。料理が苦手なご利用者様も参加しやすいメニューでした。

新嘗祭②

穀物に感謝して皆様で「頂きます！」。豚汁の味付けもやはり主婦の経験が味に出ていました。「彩りいいね」など皆さん笑顔で召し上がっていました。

工作レク①

文化の日ということで秋の芸術を楽しもうと紅葉の壁画作りを行いました。皆さん1人1人個性のある紅葉を描かれていました。

工作レク②

皆さん黙々と集中して紅葉を描かれ、終わったあと皆さん大変疲れた顔をされていました。おかげで素敵な壁画が完成しました！

大柳の奮闘記

あっという間に12月となりました。今年は1年間「コロナ」に振り回される年となりましたね。ご利用者様にはとても窮屈な思いをさせたと思います。また職員も感染予防に努めてくれ、出勤日の検温はもちろん、休みの日も外出を控えたり、出かけるときも報告したりと介護従事者としての自覚を持って対応してくれました。今後はワクチンでうまく収まってくれることを切に願いたいですね。例年なら今月は毎年恒例の「まこと大忘年会」がプリンスホテルで開催され、今頃事業所では催しの練習や準備を行っています。残念ながらホテルで一同開催は中止となり、各事業所で忘年会をすることになりました。当事業所は12月23日にクリスマス＆忘年会を予定しております。みなさんと一年を振り返りながら楽しめる機会になればと思っています。

来年の干支は「丑」です。丑が2番目になった理由に、神様が動物たちに元日の朝、私のところに到着した上位12番目までを順番でその年の大将にしようと言われ、足の遅い丑は一番早くに出発し一番にゴールしたはずでしたが、丑の背中に乗っていたネズミがゴール直前で先に降りてゴールをし2番になったそうです。それで13番目になった「猫」が干支に入れずにネズミを追いかけるようになったようです。このお話を知ったのは僕が介護の仕事に付いた年に、ご利用者様から聞きました。きっと「ネズミ」のように楽をしてはいけないと言われたような気がします。

グループホームまこと　ほのぼの日記

☆天気の良い日は外に出掛けよう！家の中でも、何か楽しい事はないかな？
事前に計画した行事は少ないのですが、思い立ったが吉日！

運動会の準備

運動会の飾りを作りました。赤と白のペーパーフラワーや風船で、飾りつけをしました。

秋の運動会①

最初の競技は棒サッカーです。皆で声を掛け合い、協力してゴールまで運びました。

秋の運動会②

1階と2階の対抗戦でタオルリレーと玉入れを行いました。白熱した試合を制したのは、2階の皆さんでした！

秋の運動会③

運動会の後は、職員の手作りお弁当を食べました。「手作りのお弁当は美味しいね」と皆さん、笑顔で話されていました。

ボールを挟んで

新聞紙で作った棒を使い、ボール挟みゲームを行いました。挟むのが難しく、お隣同士「行きますよ！」と声を掛け合いながら楽しまれていました。

高得点を狙って

午前と午後に行うレクリエーション。今回は輪投げを行いました。高得点を狙い、真剣に挑戦されていました。

柴田の奮闘記

気付けばもう師走。今年は【グループホームまこと開設10周年】のアニバーサリー・イヤーだったのですが・・・2月の後半から猛威を振るいだした新型コロナウィルスに振り回された1年となってしまいました。記念すべき年を皆さんと共に楽しく過ごす1年の筈が、違った意味で記憶に残らざるを得ない1年になってしまいました。なかなかご家族様にも会えず、外に行く事もままならず我慢の1年でしたね。報道等にもあるように、介護事業所でクラスターが一度発生してしまうと、それ以上の感染を防ぐ事はまず不可能です。入居者様達は毎日ニュースで流れている現状を理解する事は難しく、また、動ける方々は特に隔離の意味も理解できないでしょう。この小さな事業所では逃げ場もないのです。面会や受診も制限されている中、感染を持ち込む可能性は職員となってしまいます。そして、職員が感染してしまった場合には、代わりの職員などそうそう多くはいません。その為、職員も出来る限り人混みの多い場所を避け、マスクや手洗い・消毒等を徹底し、自分が感染源になるまいとピリピリして生活を送っています。道内全域に拡がりを見せている感染状況です。リスクを回避し生活をしても、どこに感染源があるかは分かりません。ご家族の皆様もお身体には気を付けて、無事に年を越せますように。今年は例年にない程のご協力を賜りまして、有り難うございました。来年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

グループホームやよい　ほのぼの日記

ご利用者様、一人一人の要望に全力で向き合い、常にご利用様本位のケアを行います。
職員一人一人がご利用者様の笑顔溢れた暮らしを支援していきます。

ステンドグラス

ステンドグラスを作成しました。花の形に型取りした紙にカラーセロハンを貼付して作りました。

11月お誕生日会

11月のお誕生日会を行いました。誕生日ケーキの前で記念に写真を撮りました。

旗づくり

旗上げゲームで使用する旗を皆様で作成しました。皆様一生懸命に作成されていました。

旗上げ

作成した旗を使って旗上げゲームを行いました。とても楽しく行われました。

安納芋①

頂いた安納芋を皆様で洗っている様子。力を合わせて皆様で洗い美味しく頂きました。

安納芋②

2Fでは安納芋をこねてホットケーキと一緒に召し上がりました。美味しそうに召し上がられていました。

石黒の奮闘記

11月からご利用者様が3人も入れ替わり日々対応に追われています。いざ新規ご利用者様の問い合わせを頂くとインスリンの施行や、食事がとれず入退院を繰り返している方、精神が不安定で対人関係に問題がある方などグループホームでの共同生活が難しい紹介があります。グループホームやよいでは自立を基本とし自分の事は全面的に行っていただき、できない所は援助し補う事で生活ができるようサポートします。以前、ご家族様から「何もやらせないで、怪我もさせないで下さい。」とお話を受けたことがあります。自立の観点からいえば難しい事ですが、ご家族様の怪我をさせたくない気持ちも分かります。ですが本人の意思の尊重を無視するわけにはいきません。よく話をし理解していただきました。その後、会話も笑顔も増え楽しく過ごされていたのではないかと今でも思いだす出来事です。新しいご利用者様は生活の変化に戸惑うことがあります。話の仲介や介助方法など手探りで行い可・不可を見極め徐々に生活に慣れていきます。入退去の入れ替わりが少ないことに越したことはありません。入れ替わりが少ないことで顔なじみの関係や役割分担、落ち着いた環境の提供が可能になります。先日、起床時に職員が声をかけるもご利用者様がなかなか起きないことがありました。そんな時、他のご利用者様が起きない事に気づき声を掛けたところ、ニコニコしながらすんなり起きることがありました。職員の関係性も大事ですがご利用者様同士の関係性も必要であり、お互いが協力して生活を営む事の大切さを感じました。

もう12月。去年とは違いコロナウイルスに怯えながらの1年でした。また職員の退職や残務続きで負担も大きくフォローもままならず反省ばかりです。来年は少しでも改善できるよう努めていきたいと思います。

小さなデイサービス緑ヶ岡　ほのぼの日記

「我が家スタイル」の緑ヶ岡デイサービスの日常です。今月も笑顔の絶えないご利用者様との触れ合いを綴って参ります。「お客様第一主義」を念頭に、職員一人ひとりが心配りをマメに行い、心から愛情をもってご利用者様に接して参ります。

ポインセチア

ポインセチアのオーナメントを手際良く作成中！もうすぐ完成します。華やかに飾りクリスマス会を盛り上げてくれることでしょう。

ミニツリー

もうすぐ、クリスマスです！ミニツリーを作りながら、「クリスマス会で俺は、何を歌おうかなぁ～」

機能訓練

「継続は力なり」毎回、真剣な表情で機能訓練に取り組まれています。

雑巾縫い

タオルをたくさん頂きました。「私和裁をしていたのよ」と話され、早速雑巾を縫ってくださいました。有難うございました！

改名：松岡　みどりさん

いろいろありまして…岡みどりから松岡みどりに改名しました。今後も宜しくお願い致します。

白岩さんとみどり

グループホームまことへ入居が決まったご利用者様です。歌が大好きで、毎回カラオケで自慢の歌声を披露してくださいました。いつまでもお元気で。

川村の奮闘記

朝晩の冷え込みが厳しく街路樹もすっかり葉を落とし、本格的な冬将軍の到来を迎え、気が付けばカレンダーも残り一枚となりました。今年の幕開けは「新型コロナウイルス感染症」の話題から始まり、未だ目に見えぬウイルスに不安を抱えながらの生活が続いています。ビジネスや社会生活、文化活動等に至るまで密にならないよう、新たな手法を日常に浸透させていかざるを得ないのが現状です。

さて、緑ヶ岡デイサービスでは、コロナ禍で暗い話題の多い中、不安を抱えながらも感染予防対策を重視しながら楽しい空間作りとレク企画に取り組んでいます。フエルトを使用したミニツリーや白と赤を基調にしたポインセチアのリース作成を行いました。カラオケも消毒と距離・マスク着用を心掛け実施しています。外部ボランティアの出入りが禁止となってからは、歌も楽しめるようにと私が「岡みどり」として歌わせて頂き、八ヶ月が過ぎました。この度、ご縁があり作詞家の「杜　未来人」先生と作曲家の「みさき　いちろう」先生お二人のお勧めで、釧路を代表する歌手の「松村　恵さん」の一字を頂き「松岡　みどり」と改名することとなりました。歌活動を通し、少しでも明るい話題を今後も提供できればと思います。

今年度も大きな事故等無く、終えることができることが何より嬉しく思います。今年も一年間、本当にお世話になりました。「感謝！感謝！」の年となりました。有難うございました。

小さなデイサービス大町　ほのぼの日記

『ご利用者様と心をかよわせ、共に生活を支えあう』を、モットーに
スタッフ一同、日々頑張っております。

可愛い小人さん

フェルトとヤクルトの容器で小人さんの置き物を作りました。とても可愛いでしょ！完成後は、「めんこいね」「孫が喜ぶわ」と楽しくお話しされていました。

布巾縫い

大町デイの女性ご利用者様たちは裁縫がとても得意なんです！指先がとても器用で、丁寧で且つ素早い手付きであっという間に縫い終えました。

お手伝い①

コーヒーに使うミルクの詰め替えのお手伝いをしていただきました。「私にできることは何でもするよ～」といつも声を掛けてくださる心優しいご利用者様です。

お手伝い②

洗濯物干し中のご利用者様。いつもお手伝いありがとうございます。今日はランチョンマットを干していただきました。

オセロで勝負だ～

職員とオセロで対決しました。「勝てるかな～」と話されながらも、最後まで競り、見事ご利用者様の勝利！とても楽しい時間となりました。

100点満点

午後からお勉強タイム！今日は計算問題を解き、見事100点を取りました！真剣に一生懸命問題を解いている姿はとても素敵でした。

堤の奮闘記

今年も早いもので12月。1年があっという間に通り過ぎてしまいました。皆様は、風邪などひかれ体調を崩されておりませんか。師走は何かと忙しい時期ですので体調にはお気をつけてください。当事業所の中といえば、コロナウイルス感染予防の為お休みされているご利用者様が多く、事業所の中は寂しい限り。1日も早くコロナウイルスが落ち着き平穏な日々が送れることを祈るばかりです。

さて、12月には、忘年会とクリスマス会を行いたいと思っています。忘年会は、美味しい食事と職員による余興を披露したいと思っています。また、クリスマスウィークとして12月21日よりサンタクロースがご利用者様にプレゼントを持ってやってきます。どのサンタクロースが今年は来るのでしょうか。来た時には名前を呼んであげてくださいね。また、今年は1日限定サプライズでトナカイの「となこちゃん」がやって来るとのうわさが。いつ頃やって来るのでしょうか楽しみにしていただければと思っております。

また、今年1年小さなデイサービス大町をご利用いただきまして誠にありがとうございます。ご利用者様、ご家族様をはじめ居宅介護支援事業所の担当ケアマネージャー様には大変お世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。来年もまた、ご利用者様が笑顔で楽しく1日を過ごしていただけるよう職員一同支援をしてまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

まこと保育園　ほのぼの日記

安心安全な保育を提供し、保護者とともに歩みます。
家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの個性を大切に育んでいきます。
子どもの笑顔・保護者の笑顔・保育士の笑顔を目指します。

さくら組

テーブルを使い、滑り台にして遊びました。自分で一生懸命に登る達成感を味わいながら、楽しんでいました。小さなお友達も、保育者に支えられニコニコです。

お友達との関わり

お友達と関わることが増えてきたさくら組さん。「貸して」を仕草で表現したり、「どうぞ」と物を貸してあげるなどして、やり取りが出来るようになりました。

すずらん組

指先の発達により、細かい作業が出来るようになってきました。真剣な顔で集中力も増して来てますよ。素敵です。

朝の会の様子

新しいお友達も増え、9名となったすずらん組さん。早速ふざけ合う姿にほっこりしました。たくさんのお友達と触れ合うことで、感性が豊かに育ってくれたら嬉しいです。

すみれ組

コーンパンを作りました。色々な食材を混ぜて、完成に近づいてくると、嬉しそうにしていました。完成したパンを見て、「いい匂い」と喜んでいる子ども達でした。

勤労感謝の日

いつも保育園でお仕事を頑張ってくれている園長先生や事務員さん、調理さんにプレゼントを渡しました。緊張しながらも「いつもありがとう」と渡すことが出来ました。

種市の奮闘記

釧路にも初雪が降り日に日に寒さが増してくるこの頃です。今年は何かと活動が制限され親子行事や連携企業訪問を中止せざるを得ませんでしたので、子どもたちの様子をお伝えする場が減ってしまったことが残念です。そんな中でも、10月30日には地域の商店街へハロウィンの仮装パレードを実施する事が出来ました。”密”を避けてお店の中には入らず、店頭での対応にご協力いただき地域の皆様と交流する事が出来ました。穏やかな天気に後押しされ、お菓子をたくさんいただき、泣く子もおらず楽しく歩いてきた子どもたちでした。ご協力いただいたお店の方に改めてお礼申し上げます。

11月の研修で1歳児クラス（4月は6名⇒11月は9名）の研究保育が報告されました。保育士の配置基準は2名ですが、歩行が始まったばかりの子どもたちが手をつないで歩くことを覚えなければ散歩にも出かけられません。駅裏の古い町並みには、小さい子どもたちが安心して遊べる公園が少なく、カートを使ってばかりでは発達を促すにも限界があります。そのため4月から室内遊びや生活の中で「お友だちと手をつなぐことはたのしいこと」を体験させながら、少しずつ距離を伸ばし、1歳児クラスでもカートを使わず散歩ができる様になりました。条件の悪い中で創意工夫してくれていることに感謝です。

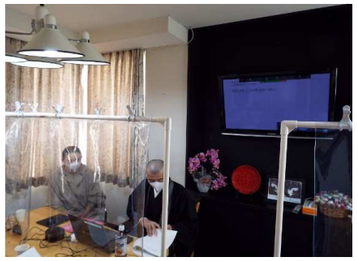
キャリアアップ支援研修

『 看取り時の精神的ケア ～自身も介護者も安らぎを～ 』

11月14日（土）無量山自然院 福住職 藤井敬亮様による「看取り時の精神的ケア～自身も介護者も安らぎを～」と題した講習会が行われました。今回の講習会も、釧路管内のコロナ感染拡大防止のため、ZOOMでの開催にさせて頂きました。受講された皆様のご協力に感謝いたします。

私達介護職員も「看取り」を経験する機会が増えつつあります。終末期に入ったご利用者様、ご家族様が安らかに過ごせるようにケアをする。人間の最期に向き合うことに対して不安を抱えている介護職員が多いと思います。今回は、人の死に関する行事を行い、身近な存在となっている仏教というものに触れ、安らぎを目標に終末期の心を学びました。

今回の講習会で藤井様からは、昔はたくさんの家族がいたので親族が看取ることが当たりまえだったが、今は親族の代わりに介護職員が看取る時代。本来親族であるべきなのに自分が看取っていいのだろうかと思い迷う介護職員もいるはず。 「時はいま、ところ足元 そのことに 打ち込むいのち 永遠（とわ）の御（み）いのち」という言葉を教えて頂きました。今自分が置かれている現状を当たり前と受け止めて、自分の出来る範囲で自分の与えられた役割に打ち込むこと、そうすれば「永遠のいのち」に帰結するのだそうです。そして藤井様は、どうしても人は見返りを求め てしまうが、見返りを求めず、やるべきことに打ち込めば周りにも良い影響を及ぼしていくとご教示くださいました。



キャリアアップ支援研修に参加して

小さなデイサービス緑ヶ岡　金子由紀子

今回、看取りについての研修に参加しました。大成寺副住職藤井様のお話の中で、「苦諦」（痛みの原因）・「集諦」（原因を探る）・「滅諦」（原因を無くせば良くなる）・「道諦」（治す）など少し難しい仏教用語ですが、意味を聞くと、私達介護業界や医療関係にとても深く関わりがある事を知る事ができました。また、一番心に残ったのは、「縁起（えんぎ）」（人との触れ合い（つながり）が必要である）という言葉でした。これからの介護業務の中で、ご利用者様や職員との「縁起」を大切にしながらケアに専念していきたいと思いました。

まことクイズ

～今月の問題～

この写真のキャンプ場の名称は何でしょうか？

1. 山花公園キャンプ場　　2. 鶴居村キャンプ場

3. あかんランド丹頂の里キャンプ場

～先月の問題～

この写真のキャンプ場の名称は何でしょうか？

1. 山花公園キャンプ場　2. 鶴居村民の森キャンプ場
3. 音別町憩いの森キャンプ場

答えは2番の鶴居村民の森キャンプ場でした。

感染症蔓延防止対策のお知らせ

施設来所のお客様へ

釧路市内にて、クラスターが発生したため、施設利用者様以外の出入りを禁止させていただきます。

ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

ケアプランセンターまことからのお知らせ

12月になり日照時間も短く、寒さも厳しくなってきました。大掃除や年賀状の作成、大晦日の用意等、忙しい時期になりますが、1年の締めくくりを健康で過ごすために、3密（密閉、密集、密接）をさけてマスクの着用や手洗い、うがい、室内の保湿などを心掛けていきましょう。また、雪が降る時期でもありますので、雪や氷で道路環境も変化する為、外出時は足元など気を付けて下さい。お一人暮らしのご年配の方、お身体の事や介護のことで悩んでいる事等、御座いましたらお気軽にご相談ください。

ケアプランセンターまこと　管理者 玉木
TEL 0154-68-5531 FAX 0154-68-5399

大判タオル・タオル等のご寄贈を！

リハビリサポートまことの各施設では、多くの大判タオルやタオル等を必要としています。ご家庭で使用されていないタオルやシーツ等。また、ご使用済みのシーツやシャツ等がございましたら、多少にかかわらずご寄付いただけないでしょうか。ご連絡いただきましたら取りに伺います。ご協力の程よろしくお願いいたします。

連絡先　大町事務所
TEL0154-44-7733　FAX　0154-44-7734（担当松下）

現在の空き状況

12月9日現在

施　設　名	空き人数	備　考	お問い合わせ先 TEL	担当者
小規模多機能型居宅介護まこと	3 名	通い可	0154-41-3633	吉　田
アシストリビングホームまこと	1 名		0154-41-3633	吉　田
グループホームまこと	0 名		0154-41-8355	柴　田
グループホームやよい	0 名		0154-42-2078	石　黒
小規模多機能型居宅介護やよい	4 名	通い可	0154-64-5210	大　柳
アシストリビングホームやよい	0 名		0154-64-5210	大　柳
小さなデイサービス緑ヶ岡	空き有り		0154-68-4850	川　村
小さなデイサービス大町	空き有り		0154-42-8377	堤

随時ご相談に応じておりますので、
どんな事でもお気軽にご連絡ください。

ま ごころこめて **こ** の住み慣れた場所で **と** もに築きます

発行：株式会社リハビリサポートまこと
住所：釧路市大町5丁目2番21号　　電話：0154-44-7733　発行責任者：　代表　山田勝雄